



■北通り総合文化センター「ウイング」

文化、教育、健康の複合施設。大間町、風間浦村、佐井村の3町村からなる「北通り」の総合文化センターとなっています。多目的ホール、図書館、視聴覚室、郷土資料展示室などの文化施設のほか、屋内運動場、温水プール、高さ30mの展望塔も備えています。

2014年青森ねぶた祭で知事賞と最優秀作製者賞を受賞した「大間の天妃神 千里眼と哪吒」のねぶたの面が展示されています。



- 住所：青森県下北郡大間町大字大間字内山48-164
電話 0175-32-1111
- 営業時間：■受付／展示施設・図書館9:00～17:00
■視聴覚室・ホール・運動場／9:00～20:00
■プール13:30～20:00(夏休みを除く平日)
10:00～20:00(土・日・祝・夏休み)
- 休館日：毎週月曜日、年末年始



■西吹付山展望台 ～シーサイドキャトルパーク～

旅を愛した明治の文人・大町桂月が、晩年に、大間からの眺めを「大間崎 空と海の間に長き蝦夷が島 消えてかはりぬ漁火の影」と詠んだ歌碑が立っています。展望台からは大間の町や津軽海峡、いさり火や函館の夜景も見られます。



■大間漁港荷揚げ場

大間のマグロ漁は、だいたい7月から年明けまでとなっています。マグロがかかれば、家族が待ち受けているこの荷揚げ場に漁船が入ってきます。運が良ければ巨大マグロの水揚げに出会えるかも?! 誇らしい漁師の笑顔にも、ご注目ください。
※ご見学の際は、大間漁協の職員や漁師の邪魔にならないよう、距離を保っての見学をお願いいたします。

大間町 イベント情報



■天妃様(てんびさま)行列

毎年7月の海の日に合わせて、天妃様行列が行われます。

天妃様は海上守護の女神とされており、東北地方では当町の稲荷神社だけに祭られています。遷座してから300年を迎えた1996年から大漁祈願祭に合わせて行列が行われています。



■大漁祈願祭

毎年「海の日」に合わせて行われる大漁祈願祭は、海上操業の安全と豊漁を祈願して、カラフルな大漁旗をひるがえし、漁船が一斉に海へ繰り出していきます。沖合いでは、神楽の奉納を行い大漁を祈願します。色とりどりの大漁旗に着飾った漁船が荒々しい波を切りながら進む姿は、とても勇壮です。



■大間町ブルーマリンフェスティバル

毎年8月14日に行われているブルーマリンフェスティバルは、舟競争大会、マグロ解体ショー、キャラクターショー、歌謡ショーなど見どころ満載。(雨天の場合、総合文化センターウイングで開催)
夜には、約5,000発の花火大会で締めくくり、大間に夏の終わりを告げます。(雨天の場合、翌日へ順延)

本州最北の地で楽しむ おすすめ 大間町 スポット

■本州最北端の地 大間崎

大間町の先端、北緯41度32分、東経140度54分の場所に「ここ本州最北端の地」の碑がそびえ立っています。大間崎と北海道の汐首岬は17.5kmしか離れておらず、弁天島の向こうには渡島連峰を望み見ることができる。マグロの一本釣りをモチーフに造られたモニュメントは絶好の記念撮影ポイントです。

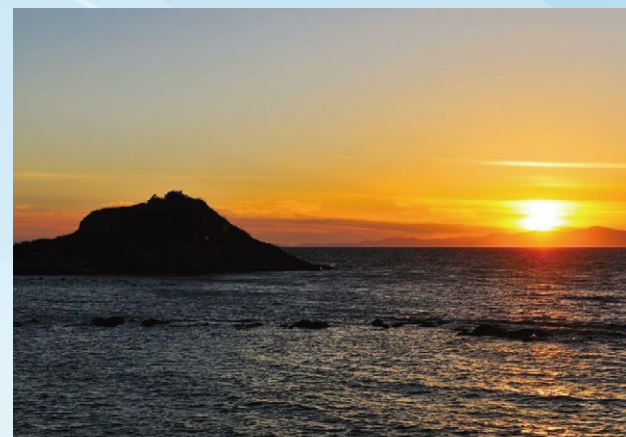
また、ここより徒歩1分のところには、地元有志により石川啄木の歌「東海の小島の磯の白砂にわれ泣きぬれて蟹とたはむる」の歌碑が建立された。地元では大間崎の沖合いにある弁天島のことを詠んだものと言われています。



■弁天島

周囲600mの場所に浮かぶ弁天島は、周囲2.7kmの小さな島だが、弁財天が祀られ、古くから漁師に信仰されています。

島には高さ37m、白と黒のストライプの大間崎灯台があります。また、野鳥の宝庫としても知られています。



■赤石海岸

国道338号線を大間から佐井方面に車で15分。大小の奇岩が海中から突き出して、独特の味わいのある風景が楽しめます。特に夕暮れ時がおすすめです。